

コズミックカレッジ

山本 順司

2010年10月23日(土)にコズミックカレッジという「科学の楽しさを親子で体験する」イベントが別府で催されました。これは体験型宇宙サイエンス教室で、宇宙に関連する様々なミニ実験や工作を通して宇宙を考えるという内容でした。実験の質にはいろいろと問題があったと思いますが、子供たちが学校では教わらない最新的话题に触れられる機会を持つという点が特に素晴らしく感じられました。また、子供の実験に手を出さないというルールの工作も行われました。その様子を想像して下さい。必ず親子で参加するという当教室のスタイルの意味も分かった気がします。

また、催しの中の1コマで、宇宙飛行士になるために必要なことがいくらか話題になっていました。中でも採用試験で出題されたパズルの一部を実際に体験する催しは大変興味深いものでした。近ごろではキャリアパスと言うのでしょうか、人生プランを俯瞰して必要な技術や知識を考えることが大事だと言われていますが、例えばどうやったら宇宙飛行士になれるのかという子供たちの素朴な疑問に対して、こういった体験を通して教えるスタイルは秀逸であると感じました。

ただ特に残念なことが一つあります。このイベントでは、準備や片づけに多くの時間が掛かっており、また、応募者が多かったため参加できなかった方もたくさんいらっしゃると聞きました。このような催しが常時行えるようなスペースがどこかにあればと思えてなりません。

